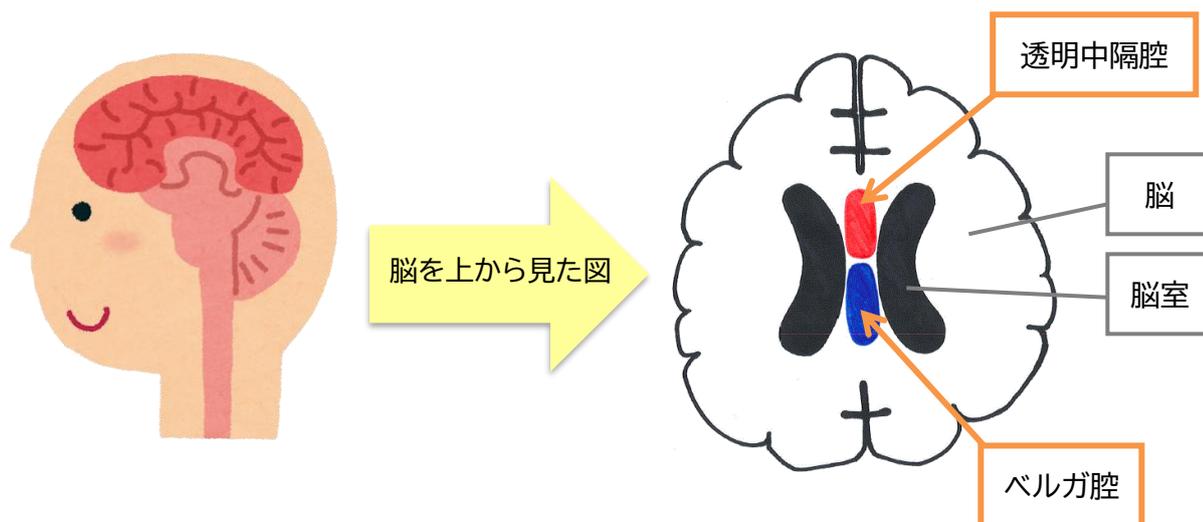


とうめいちゅうかくのうほう
透明中隔嚢胞 ・ ベルガ腔嚢胞

R6.12.25 作成

透明中隔・ベルガ腔とは、脳の中の髄液(ずいえき：リンパ液のような無色透明な液体)の溜まっているお部屋(脳室)に囲まれた箇所に位置し、本来、乳児期以降は退縮し消失することがほとんどです。まれに、残存していることもあり、偶らうけたMRI検査等で発見されることがあります。



《 主な自覚症状 》

透明中隔嚢胞もベルガ腔嚢胞も、通常無症状であることがほとんどです。嚢胞自体が大きくなることで、下記の症状を認める場合もあります。

- ・ 頭痛
- ・ 吐き気、嘔吐
- ・ けいれん
- ・ 視力障害 など

基本的に治療の必要はなく、経過観察となることがほとんどです。

嚢胞に伴う自覚症状が顕著にみられる場合には、医療機関(脳神経外科)へご相談ください。

また、日常生活やスポーツ面での制限もとくにはありませんが、頭部打撲などが予想されるスポーツ(サッカーのヘディング、ラグビー、ボクシングなど)は控えましょう。

少しでも気になる症状があれば、お近くの脳神経外科へご相談ください！